

ムはあるか。

答弁 不都合は今のところ聞いていない。事業者に定期的な会うと同時に常に声がけを心がけている。

質問 太陽光発電システム導入補助金の申請の状況と市では目標値は定めているか。

答弁 4月から9月までの申請件数は、71件になっている。今後、昨年並みの220件位になると見込んでいる。平成21年7月から補助を開始して、合計件数は593件である。当初平成23年度までの3年間を計画していたが、平成24年度から3年間を目途に継続したものである。

質問 田原小学校の校庭拡張工事はいつ頃の予定か。

答弁 開発行為の許可申請中である。予定としては、年度内に着工をしたと考えている。

質問 市民税が約2億4千万円の増に対し、固定

資産税がマイナスとなっているが、その内容は。

答弁 当初の見込みより、給与所得と営業所得の増加が見られたところから、市民税については増加になった。固定資産税については、被災住宅の非課税などが要因となっている。

質問 ILC誘致に関して、国際交流協会でも様々な活動を行っている。その内容は。

答弁 1月19日に外国人にILCを知っていただくために、英語での講演会を予定している。また、外国人が誘致のために、どのような取り組みができるか、市長とのタウン

ミーティングも予定している。

質問 子育て支援センターの隣りで、商業施設の工事が進んでいる。日当たりなどの影響がないか。

答弁 子育ての仕事などには影響がないものと考えている。外壁など白っぽいものにできないか、施工業者などに相談している。

指定管理者の指定に関する議案の質疑

【奥州市温泉保養施設ひめかゆ等】

質問 指定管理料を減額している根拠は。

答弁 過去の実績平均から経費を積算している。また、今回の算定にあたっては、どの施設においても平成23年度の指定管理料の5%減を基本としている。

質問 指定管理料の算定にあたっては、経営努力は認めるべきものであり、過去の実績で増減すべき

ものではないと考えるが。

答弁 指定管理者制度は、民間のノウハウを活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としており、民間の創意工夫を発揮させることが求められる。収支により増減することはしておらず、指定管理者の努力を促す制度となっている。

質問 施設の老朽化に伴う修繕のあり方について指摘がされている。今後の修繕計画の考え方は。

答弁 1件当たり100万円未満は指定管理者側の負担、100万円以上は市と協議することになっている。市内すべての観光施設において修繕が必要な箇所を洗い出し、優先順位を付けた修繕計画を現在策定中である。

【えさし藤原の郷等】

質問 経営努力に一定の評価をすることは理解するが、市税を投入している中で株主配当をするこ

とはいいがなものか。修繕費や職員の待遇改善にあてるべきではないか。

答弁 市の主要な観光施設であり雇用の確保の場としても重要であり、長く安定した経営を続けていくために十分に検討していくべき課題である。大手の株主と組んで成り立っている。市の状況も十分説明し、協議を重ねながら合意点を見つけて参りたい。



賑わいを見せる、歴史公園「えさし藤原の郷」

【奥州市「道の駅交流館」】

質問 物販は指定事業には含まれないとのことだが、市は単なる丸投げではなく関与していくべきであり、更に誘客できるよう吟味し、管理する体制が必要ではないか。

答弁 道の駅開館時に地元の姉妹振興会と協議し運営をしてきた経緯があることから、今後地元との協議も必要である。活性化に繋がるよう観光物産協会と検討していく。

【江刺ふるさと市場】

質問 収支計画を達成していくためには相当な努力や工夫、設備投資が必要である。また、農業の発展や雇用の確保のためにも市は関係者と協議し支援をしていくべきではないか。

答弁 しっかり踏み込んで対応していく必要がある。一定のルールはあるが、協議をしながら市が出来ることは協力していく。

【胆沢堆肥化施設】

質問 設備の修繕費が大きな負担となっている。近隣の他施設と比較して設備の改善をしてから指定管理すべきではないか。

答弁 根本的な改善ではないが、平成23年度に攪